

移住に関するイベント・新サービス・移住者のエピソードまで いばらきの移住特集

ひたちトライアルステイ「海見える家」(日立市)/つながるローカル(常陸大宮市)/
常総市お住まいオーダーサービス(常総市)/Re:BARAKI(茨城県)/移住者のエピソード

茨城県の1住宅あたりの敷地面積は395平方メートルで、全国平均の252平方メートルを大きく上回り、全国第1位の広さを誇っています(「統計で見る都道府県のすがた2022年度版」/総務省作成)。広い家、広い庭が多いため、ガーデニングや家庭菜園を楽しむお家も多く見かけます。エネルギッシュな都市部から、のどかな里山や海といった自然の多い地域まで様々で、都心へのアクセスも良い茨城県は、「あなたらしい」ライフスタイルを考えるのにぴったり！そんな茨城県の移住に関する情報を、移住者のエピソードも含めてご紹介します！



太平洋を独り占めできる家で“ひたちぐらし”を満喫できる

ひたちトライアルステイ「海見える家」(日立市)

実施期間:7月16日(土)~9月30日(金)【※募集終了】



日立市は茨城県の北東部に位置するまちです。市内の多くの場所から海を見ることができ、市の顔である日立駅は「海見える駅」・「世界で最も美しい駅舎」の一つとして高く評価されています。

そんな日立市では、築35年の海見える一軒家をリノベーションし、お試し移住体験プログラム(トライアルステイ)を実施しています。今年の3月から行っているトライアルステイも、今回で3期目。全国から応募があり、大変人気となっていて、毎回抽選で利用者が決まるほど。この家の最大の魅力は、なんとといっても2階からの眺望。太平洋を一望できるワンフロアの空間が用意されています。

滞在前のオンラインミーティングでは利用者のニーズに合わせた滞在プランの提案などを行うほか、滞在中も“ひたちぐらし”を満喫できるよう現地コーディネーターがサポートします。体験の時点で移住を明確に意識していなくても大丈夫。『日立市のファン』を少しでも増やせたら嬉しい」という思いから企画されたこのトライアルステイでは、海を眺めながらリモートワークしたり、家族でくつろいだりと、ライフスタイルに合わせて思い思いの時間をお過ごしいただけます。市では随時移住相談会を行っているため、トライアルステイ後、移住を考え始めた方の市の相談も受け付けています。3期目(7/16~9/30)以降、今年度はあと2回、このトライアルステイを実施する予定ですが、早くも人気殺到が予想されます！

【問い合わせ先】

日立市役所 市長公室広報戦略課
 TEL:050-5528-5038
 問い合わせ時間:平日8:30~17:15
 URL:<https://www.city.hitachi.lg.jp/citypromotion/hitachikaze/topic/001/p101930.html>



▲日立市内からは様々な顔の海が見られると評判を集めている



泊まるだけじゃない、現地での仕事も体験できます！

つながるローカル（常陸大宮市）

「林業・アクティビティ編～2泊3日の常陸大宮ライフ・体験プログラム」

8月5日(金)11:00～8月7日(日)13:00 (2泊3日)



常陸大宮市は、茨城県の北部にあり、都心から車で約2時間という立地で、農林業や2拠点生活、テレワークや副業といった働き方・暮らし方を実現できる地域です。

昨年「つながるローカル」という「ローカル(地域)とつながり、自身のライフスタイルを見つめなおす移住体験プログラム」を年2回実施しています。今年、第1弾として林業とカヌーのアクティビティを組み合わせた移住体験プログラムを実施予定！林業に関する体験では、製材所の見学だけでなく、間伐体験や製材体験もできるため、「常陸大宮市で新しく仕事を見つけたい」という方にぴったりな移住体験です。このプログラムは、お子様も一緒に楽しめる企画になっているため、ご家族で常陸大宮市の魅力を体感できます。また、つながるローカルの体験プログラムに携わる地域の人々は、県外からの移住者やIターン・Uターン者が多く、移住経験者からリアルな声を聞けるのも嬉しいポイント。その中でも移住

と同時に新しい仕事に転職した方も多いため、先輩の経験談を聞けば、より一層移住へのビジョンが見えるはず！

第2弾は今秋に「農業・職人編～2泊3日の常陸大宮ライフ・体験プログラム～」を計画中。通常の移住体験とは一味も二味も違う、アクティブで濃密な3日間でローカルな暮らしを体験してみたいかでしょうか。

【問い合わせ先】

常陸大宮市役所 定住推進課

TEL:0295-52-1111

問い合わせ時間:平日8:30～17:15

URL:<https://www.facebook.com/tsunagarulocal/>

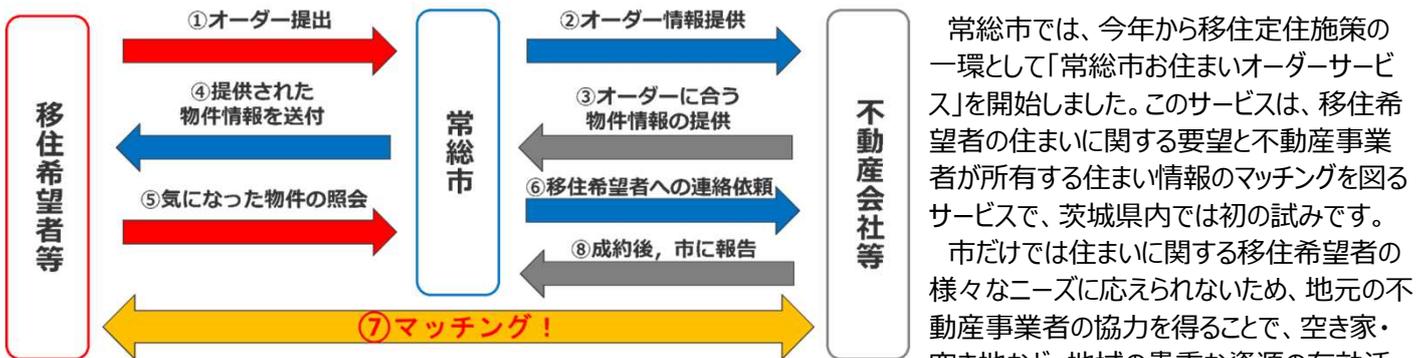


▲林業体験のプログラムのイメージ



県内初の試み！移住先の住居探しも市がサポート

常総市お住まいオーダーサービス（常総市）



常総市では、今年から移住定住施策の一環として「常総市お住まいオーダーサービス」を開始しました。このサービスは、移住希望者の住まいに関する要望と不動産事業者が所有する住まい情報のマッチングを図るサービスで、茨城県内では初の試みです。市だけでは住まいに関する移住希望者の様々なニーズに応えられないため、地元の不動産事業者の協力を得ることで、空き家・空き地など、地域の貴重な資源の有効活用が期待されます。申し込みは簡単で、インターネット上で「お住まいオーダー注文用紙」と同意書、身分証のコピーを常総市の担当課に送信するだけ(書類郵送も可)！注文用紙で広さや間取り、設備などの希望だけでなく、主要施設(駅や病院、学校等)への距離の希望も出せるのは地元ならではのサービスではないでしょうか。売買だけでなく賃貸、建物だけでなく土地のみの取引にも対応しているので、より多くの選択が可能です。

今年の5月に始まったサービスですが、すでに移住希望者からの申し込みがあり、利用者にとっても市にとっても嬉しいサービスになっています！この制度を使って、ラクに住まいを探してみませんか。



【問い合わせ先】

常総市役所 都市計画課

TEL:0297-23-2111

問い合わせ時間:平日8:30～17:15

URL:<http://www.city.joso.lg.jp/shigai/move/1651025392450.html>

▲常総市の空き家バンクには多くの物件や土地が登録されており、移住希望者からも人気



茨城県内の移住のことならお任せあれ！ Re:BARAKI (茨城県)



茨城県では、県全体で移住に力を入れています。「Re:BARAKI」は茨城県が運営する移住定住ポータルサイトです。各市町村の移住に関するイベント情報や各種支援策が掲載されているだけでなく、地域おこし協力隊や県内で活躍している人々のインタビューが掲載されています。また、県内の就職相談窓口の情報が載っているほか、空き家バンクの物件検索もできるので、より茨城への移住をイメージしやすく、また、サポートしてくれるサイトになっています。漠然と茨城への移住を考えている人は、まずはここをチェックしておけば間違いなし！

【問い合わせ先】

茨城県 政策企画部計画推進課
TEL:029-301-2536
問い合わせ時間:平日8:30~17:15
URL:<https://iju-ibaraki.jp/>



茨城県に移住してきた人々①▶ジェフ・ラッジさん(那珂市)



ジェフさんはイギリス人のお父様とドイツ人のお母様を持ち、スイス生まれのフランス育ち。その後、世界の様々な国で暮らしてきましたが、ニュージーランドで今の奥様と出会い、結婚。2005年から奥様の故郷である那珂市で生活を始めました。

奥様のご実家は30年以上にわたって水府提灯(※)づくりをしている工房で、義父が一人で始めたこの家業を継ごうと、2017年から見習いとして提灯づくりをしています。伝統的な提灯づくりをただ継ぐだけでなく、自身の祖父から教わったステンドグラスづくりの技術を活かし、提灯の技を用いて現代の住宅や商業施設などに合う照明の商品開発なども行っています。江戸時代から続く水府提灯に、いま新しい風が吹き込まれています！



【問い合わせ先】

飯島工作所
茨城県那珂市中台261-2
TEL:029-298-6120

※水府提灯:水府とは水戸の異称。

江戸時代、提灯づくりは水戸藩の奨励産業であった。岐阜、八女と並び、水府は提灯の日本三大産地のひとつと言われている。



茨城県に移住してきた人々②▶石岡コージさん(笠間市)



笠間市にあるかき氷専門店「茨城おとなのかき氷四季と六花」店主の石岡コージさんは東京都出身です。前職の出張で茨城県を訪れ会食をした際に、特産物のフルーツを食べ、その美味しさに衝撃を受けたそう。「茨城県にあるたくさんの美味しい特産物を使って、みんなに美味しいフルーツを食べてもらいたい」と思い、一念発起。「知り合いも土地勘もないまま」茨城県への移住を決めました。

フルーツとの相性の良さや自身がかき氷が好きであったことなどから、脱サラして「茨城おとなのかき氷四季と六花」をオープン。インパクトのある見た目はもちろん、こだわりぬいた食材を使用したかき氷は開店当初から人気を集め、今では予約開始2分で満席になることもある人気っぷり！旬のメロンや栗、干し芋など日本一の茨城県産食材を中心に、実際に自分の足で農家さんを訪れ、旬の食材を選んでいます。まさに茨城県を訪れて心を動かされ、移住で人生が変わり、「自分らしい」ライフスタイルを追求し続けています！

【問い合わせ先】

茨城おとなのかき氷 四季と六花
茨城県笠間市下市毛213-2
営業時間:11:00~17:00 木曜日~月曜日限定(木曜日は不定期営業)

[完全予約制]※予約方法はお店のInstagramをご確認ください。

URL:<https://www.instagram.com/shiki.to.rikka/>



▲県産の食材を使用したかき氷

■本件に関するお問い合わせ、ご取材のお申し込みは、下記までご相談ください。

茨城県広報事務局 (フロンティアインターショナル内) 担当: 東山(070-3266-6497)、五十嵐(080-5475-7972)

TEL 03-5778-4844 FAX 03-5778-6516 E-mail: ibaraki-pr@frontier-i.co.jp

(リリース等の配信先の変更、配信停止をご希望の方は、上記までご連絡ください)